事態上終憶の形さなつたが東銀局一動な隙姫とニ十六日午後五時頃か便難動は二十六日の際語な現て「京中の理業域の一部は柳特響に繁度素の二十七日巻)蝦道省の滅縁一瞥内理業員の一部及び地方より上

歌に本省現業調査課、は全線波及一角これ等は所在な職ました。一が

不穩な指令を發す

警視廳非常陣を張る

能大庄下山 人勒母 中的一种可谓全面的医大 比据日和美数自实施 新門

ヨア草命(も 青帮とブルジ

突御裁可をあふぐ 石槻首相けさ十時参内

仰いだ。「東京二十七日愛」が機管に関する俸給令改正勅令案を上奏御裁可を関東京二十七日愛」が機首相は二十七日午前十時十分宮中に参内天皇 園する法律家を提出と法 時も矢吹してゐる事情に鑑み戦行 に政府が 脳部の意見一致してゐる 独官職の意見に職從して 明かにされてるないが、歴代ス閣 に政府が 脳部の意見に職從して 明かにされてるないが、歴代ス閣 に政府が 脳部の意見一致してゐる 独官職の意見に職從して 明かにされてるないが、歴代ス閣 に政府が 脳部の意見一致してゐる 東信によるか して定報を紹行するが法に出づる 法の職権を紹行するが法に出づる 法を以て拠点し後法は前法に勝つ 單行法で判事減俸 

嚴重なる警戒に に備ふるため非常時の隙を奉いたとた響・職就流を協議の結果属一の場合とた響・職は高橋建監以下前職部・ 実常な緊張を見せた、この報に接

名鐵反對運動

だ田島大館も作った田島大館も作った田島大館も作った田島大館も作った

営局も愁眉を開く

原案よりも低減 ノ佐以下の減俸

『東京二十七日書』 瀬鰕反默巡覧 参照館より栽めればならぬやし知 は最近か続り欲が蔵大子波際に降 れず臓が栽培何が出目されてぬる かたが、六十年間の膨胀を破って 門 銭 代表 ・参加しての管室の政 門 銭 代表 根の勢力によって二十六日の定僚をを破除軍一致の希望に南、安保南 陸海軍の希望を容れ

物奏任官より出すか

被係率を取扱

一般官吏に

| 一千名もの多数によること、て會 社報にて養養六月より覚施される

出すやも知れず、成は数一部銀道局現実近代表態腐践維は「一節よりも前行駆脱さして、四時以避解反誘のため上京中の門にて論議されるであらう。【東京二十七日巻】二十七日午前さしてもこれ等の責任間

東文派標・原本で高が強くないと認ったいとと特別では、一十六日二時十五分養育、成に記せの神に誠で高が再来公館では、全は端線入社以に入ったが長は、全は端線入社以の本本高級接触を取りているが大きには、全は端線入社以の表別であるが今度は二十九日ハルビン特徴ニ十七日報と、全は高級をであるが今度は二十九日ハルビン特徴に対して見たいるとは、一方のでは、一方 大森滿鐵理事

任官等

道のゼネ

いデモトアジの交響樂。彈壓の雨

國鐵騷動漸やく大詰

髪で喰止め

原文 は三十日午後一時三十分より版 原文 観楽和黙治艦第十八 頭土 概察 上海は物像が非常に安く、わけ するウエストミンスターが上海で は十七橋ださいふここや、自動車 が大事さいふので兎もするさまご た大事さいふので兎もするさまご と中「ジエスフキールド」さいふこ で、聞きなくいつも全市が膨度会の場合で、聞きなくいつも全市が膨度会の場合であるの

を受ける。 とり舎用ので信、を訪の通信機関 し深更二時三時四時なほ歴遊なであら ・ 形 勢不 様 の彩を売して楽 き荷擦で窓に多水でも辿ばときであら ・ 形 勢不 様 の彩を売して楽 き荷擦で窓に多水でも辿ばとき はま々く破束しその吹三十中名 はまるく破束しその吹三十中名

支那あちこち…… 國杖史即

(10)

は二一立)の、四人乗り古風の馬では見られなかった一町立へ時に

上海さ比べて少からす心温

上海がった

0

上海では ださ、安してかり、安になったさが一座を終掘はどうなってあるの 出きられいば実験されてもいいさ

満鐵職員の給料 廿五日に支拂ふ 近日中社報で發表

はおける大子沖製塩工事能量の たが製験がある大子沖製塩工事は要素を たが製験がある大子沖製塩工事は支掘 をはる製造工事は支掘 を なってるたものであるが大機支那 で なってるたものであるが大機支那

◆線丸吉雄氏(添鍵社員) 福岡されていた。 京の途についた。 京の途についた。 ▲郡新一郎氏(帰鎌土木課長) 同 (ペッ大説) 場に、大島大・十六日晩無順より輸連 ※の窓の窓からよく見 ※の窓の窓からよく見 ※の窓の窓からよく見 ◆山口十助氏(涌線上海事養所長 が、この職ら舞また座ご除する長)物任挨拶の爲市内各所訪問 ぬた。

は院城かさ。青いは院城かさ。青 解散式を得ふに決 つて居り且大正九年に一般管要されないが日銀始めその他が疾銀行の一日 

たが二十

田島次宮

は一年されてある。一言時に歌舞されてあるので常然滅

はるびん丸 船客 門司 きて距離は大連である。 特體サ七日製 二十ルコ大連入港 (概率大変はヤマトホテルに降取 保坂ロシア大使館附武官、大本 戦友であり、日下は帰州上報社社 教主嗣子出口日出意、深水静、戦である恰内党已氏の私宅で、支 教主副子出口日出意、深水静、戦である恰内党已氏の私宅で、支 水野正一 人 事 子夫人や、際のお父の今非行等な の柔道試合の後 連中のさころ ごさだに晩餐なご馳走になった。 の柔道試合の後 連中のさころ

明天妻はホテルへ好意あるおいてけ、「う」さいふ情内氏の意見で、傾滚

大連市計會館にて創立機會を開催される書 史談何創立總會 税は一さ云

であるないで、その大連に就いたが、そんな脱岸も駆倒し、その大連に就いて大を腹部大事だけが一行と別れて大大の見職を書くことにもよう。 州さ見て纏ったのだから、さっ

總動員計畫の

が遅れる模様である『奉天電話』 鞍髪製絵と広が遅れる模様である『奉天電話』 では軍艦を上が率において行ふに決しその戦智では軍艦を上が率において行ふに決しその戦智では軍艦を上が遅れる模様である『奉天電話』 鞍髪製絵と広 張氏誕生賀客

職を如何にするかはなら水電でな機様でその工費二十萬個の場合が関で工事に着手することに

田崎殿堂、町ち所

赤ちや 赤坊ハーフコ 赤ちやん レス型

女學生新型通學服型紙 新型ハウスドレ 四五歳ロンパ 二歲女兒外出着型紙 金 三四歳男女遊び着型紙 三四歳ロンパース型紙 七八歲女兒外出着型紙 四五歲男女外出着型紙 レス型紙 二三歳ロンパ スポーツ型通學服型紙 ース型紙 9

顕して、大島大阪の修修が

打重役 に一任

シップ子からさう 機様ちやないか すぐ第日たご ターからて

が 機出養、今度こそは中間はせまい 大平洋橋町飛行艦々又々三十日 

事動を新版で書いて取ったら君 事動を新版で書いて取ったら君

東京神田駿河臺(蜀巻)5〇)

計畫案は着々と進む

これが許可に就いては、東側で共一連に結構する事となった
エーは大連では最初の出版であり
八二午前五時学園境出版自力で大
エーは大連では最初の出版であり
八二午前五時学園境出版自力で大
エーは大連では最初の出版であり
八二午前五時学園境出版自力で大
工化が許可に就いては、東側で共
の程準沖騰急級理を続つたのでせ 天然痘患者が

のであるが、之が管理

戎克に發生

昨夕安東縣から入港

き あり 何れにしても大カフエ 突せられ機能を破極の上は無に押 薪島丸も歸港 傳染系統は安東さ思はれます。患者は廿日頃から發摘るたも 思考は十日頃から髪刺したもので 本二十六日第二フランス登ぶ署手 佐藤(板)と ひます。関くさこみによるさ こ ひます。関くさこみによるさ 大磯して居る 佐藤(火)と 一切ます。関くさころによるさ 大磯して居る 佐藤(火)と 一大磯して居る 佐藤(火)と 一大磯して居る 佐藤(火)と 一大磯して居る 佐藤(火)と 「大磯して居る 「大磯して居る」と 「大場」と 「大磯して居る」と 「大場」と 「大磯して居る」と 「大磯して居る」と 「大磯して居る」と 「大場」と 「

回戦で我兩佐籐は何れも左の如く ユニ十六日参3フランス路派選手 権大食二十六日のシンゲルス第三

佐藤(俵)

佐藤、安(六二

群小カフェーのヱロ對策

龍口沖の 漁船保護 遼海州の出動

栗林の巡査。関巡捕並び

非難される

が著後處置に多性を極めた海和属 ス號より天然症患者な發見。これ

ては既重檢疫施行中だが、從來輸

食堂券 ベリヤ戦道

夏期の空輸時間變更 京成著年 17:30 養年 10°110 東京 10°110 東京 17:30 東京 10°110 下 排球大會の 中以締切

大連福岡が

一日連絡となる

日本航空会社では大連網開間一日本航空会社では大連網開間一日本航空会社では大連網開間一日

六月七日YMOAコートに続て触続されるが、五川三十日ル以で申 込か機嫌るから髪加御県者は至然 大連動場所YMCない實部範疇を 大連動場所YMCない實部範疇を 端パレーボー 大宮は野報の短く本社後、YMOA主催の第六回全 三十月限り

五月廿八日から二十一日間

主催

全満サ

E

ス賣出

本社三階度間及講堂で開催 五月二十八日から十四日間

廣告展

商工學校の土俵開き本計では今週編件

格子(関東版に鑑問を申請した。 を経て関東版に鑑問を申請した。 要更する事になり二十七日遺信局

期间發作

京城養杵 中100 着件

上海を出發した ョット氣遣はる

ット及胆腫配像を作るべく米減中 さなれば観点を観けてゐるもので四百六十五浬を繋切つて極東の で五島神は二十五日時化たさのこ で五島神は二十五日時化たさのこ 難航し長崎入港遅る は上海ない数するヨット れてゐるので安否は遺はる『あいわらうが、康定より十六時間も選

福置いて際国場合の支那進州が著 支部を転換する下の要望もあり同地 《東京特體廿六日報》西山網東經 西山氏母堂盛葬

の姿態もあり同地に一枚架設協を管であるがこれは中國艦・影戦艦・

子 天氣豫就

婦人店員募集

締切 五月三十一日 保護者とご一緒に御來店下さい保護者とご一緒に御來店下さい

連鎖街

森

第四十二十二十一行

大家の名作を 古德、小松来雕、楷 

る母に関り道に忘れ午後六トご る母に関り道に忘れ午後六トご る母に関り道に忘れ午後六トご

つて職く自宅に連れ戻された あか」さオイ~ 強いて るの 歳か」さオイ~ 強いて るの

大切な衣類書書の

虫除けは

かうするのが

番よい

海員組合長一行

は第一脚運動さして知づ日本記憶」る時底帯底さして毎年一大時覧官で創立された日本館作業協會にて一帯珈事温ル兼氏楽運、大連に合け・東連出源外総介のため今回東京に「備すこと、なりそのなめ同協會報日本美術の能能である日本書の世」の植民地を目標さして大所覧會を を後継、松る二十九日を探禁日と その他各派の一流滞伯か緑織し極 開謝工會職所において解催す

堂に展觀

日本書の海外紹介に参り

創作畵協會の飛躍

センゲンチアン

六八年の一大大学

五月の太陽

維村の朝】

一概率流被移 它順天陽山口 。東彌東南永 六生洋三世

25哈八斯鉄 阿爾平原領 斯寶陶新數 市傳《哈島 亚甸將衡町

開報共他の河方は通信版書配を飼利用版をするに向 一般語画大阪三〇二 一般語画大阪三〇二 一般語画大阪三〇二 一般語画大阪三〇二 一般語画大阪三〇二 一般語画大阪三〇二 一般語画大阪三〇二

蒸餾水は一番日採餾らて居ます

弊局製剤 特製風藥 · 咳藥

多少に拘らず御用命願上ます

雅

銀座在

初夏のデッサン

◆……ぐつき上地場を地にぶつつけるやうにの めららた県空に実配の際に振りつけられた土 類 がつんん!さ來る、きなつぼいにほび・行解から にかゝつた概が車の上の銀屑三十質の臓みでぎょ なった土壌が暴孔なついた、生産い製・車ひく兜は つた土壌が暴孔なついた、生産い製・車ひく兜は つた土壌が暴孔なついた。生産い製・車ひく兜は 知實人組合長更迭 知實人組合長更迭 知實人組合長されて就任した言二十五

既る。職のやうに前へ突ッ張つた戦防に静脈にくびれて節の娘と重の速い態に びくめた、シャツの製け目から除さ展れ上つた

古氏等養起人さなり怪影歌和會をお中であるが、高 友言、田中干 市内須藤町五三牌名漸次氏だに漸 書畫格安賣銀鈴和

健康増進には

神仙松葉食(松の翠)

大連市播劇的二二一位播劇的電台北入》

祭養の

素

催してゐる 卷新聞社々長世界紅卍字會日本中 出口氏來滿 東京人類愛

聖つて空か聞けば新緑に耽る五月の太陽。

色テ白クスル 皮膚サ美麗ニス 家践温泉ノ東 フレッシン 帝王の煙草 煙草の覇王 動神リ中皮痔結 要 → 風費 人 を 第 ス 症 痢 疾 頬

一般公際日は場内整理の名作様ひで、美術堂 ぬか 型 键 22283 毫22044

佛陶西で計畫

はいま

記錄飛行

增大連市機町 中村景太郎 特 約 店 色しろく 香りよい



弊店獨特の犠牲的 供品值段 只今が吳服の飛切 お買物は此際に 圖四十錢

本落の! 日より五日まで 一五四十五銭



出見込高十萬三千順な加へるさ州

使用ならぬ 外國建築材料

遼寧省政府布告、

二一六〇二一七〇四萬六千枚四萬六千枚一七〇〇一七〇〇一七一〇四千箱

10 六七六〇

積出高 は二十八萬九千

れな本月上、中旬中の資識に就い

| 上海廿六日費| | 11日 | 11日

H

市場振興策

取引制度の再改革案

取引所に提出さる

撫順炭の輸出

中央政府から河北省旅院に電報が、銀電調舎順は六月中旬来東する記録の調舎順は六月中旬来東する記録の

米國銀價調查團

六月中旬、天津

狀況好轉す

輸出減る米銀の中國

貯炭高頓みに減る

五品取引組合の

世年九月中降本郷の北南大野田圏 はこれがために南代に切り替へる けいは財産が除送され現在的北海には の海原界は日本に放ける精霊要素 は特産酸されるものは高々四五十萬幅と かかでは日本に放ける精霊要素 は特産酸されるものは高々四五十萬幅と かおい、高級を道部では大郷に持ち が過ぎたかめに最近飛ど伏実験監督 るが、高級を道部では大郷に持ち が過ぎたからに最近飛ど伏実験監督 るが、高級を道部では大郷に持ち が活動を呈すだらうさ見られ、本 が高いならのさ見かしてゐる、最近流 なが低に増加するだらうさ観慮されるものさ見かしてゐる、最近流 れる かるものさ見かとてゐる、最近流 れる かるものさ見かとてゐる、最近流 れる かるものさ見かとてゐる、最近流 れる かるものさ見かとてゐる、最近流 れる

、 清鐵を政黨政派より超越せしむる方策
一、治外法権を一方的聲明に依つて斷行する場合に處する對策
ありこと、二十七日年後一時から支那陸摩契境會を際解、限に來京中の大連、漢式、網天、ハル武等展述の對支關係の重要性に鑑み、この疑繁に應じ問題の紛糾を凝されまへ興奮の對策を購す
の名地日本職議會議或に書記長の出席を求め、内地の六大都市職談於部と相會と左の事項につき
政府常局を轉送する事さなった
「、清鐵を政黨政派より超越せしむる方策

日本商議覧驅委員會が

對支重要問題協議

けふ關係會頭、書記長出席して

政府當局を鞭撻する

滿特產輸送

本期は南行増か

根豆**介脂** 昨年十月以

満鐵々道部での<br />
觀測

十個八十銭、高十個八十銭、高

ンセーパ百果効

分を握る米國

對支經濟政策

リカ

0)

第二、自戦車小型整数に登つては、 は三分の二、線と総花さは四分の は三分の二、線と総花さは四分の

ない。電際の力は、これよりメッカかいふ歌学は、直にアメリカの答れいふ歌学は、直にアメリカの答

中綬章を賜ふ 佐々木勇之助氏に

を だが、特にわれく の注目を表く 一)従来のアメリカの對支政権が 主さして日本の勢力範圍への割支政権が 主さして日本の勢力範圍への割るため支那人の間にアメリカのまた。 ここの割外運動が「門戸開放」さ 電車京二十七日登 脱き悪では元 第二銀行旗版佐々木敷之助氏に繋 の水勢を思否され二十七日

1.52!.3

103,450,7 745.0 140.271.7 125,190.5 9.810.2 2.748.7 1.341.2 2,448,8 12725 3,162,0 1.5:0.7 2178.1 1,081.7 11 .2 371.7 593.0 91.4 670,3 2.792.0 57.7 85,4 28.0 581.2 279.0 2000 1.765.0 138.3 4.247.0 1.8.5.5 1458.5 1.573.1 30.441.7 24,228,9 1.925.8 596.9

61.1 180.0 5.7120 2.535.3 77.9 1,995.0 2,319.4 1.156.9

■ 松尾山山 庵 · そく 治療



ケ月延長三月制度

では、これのでは、一、「ハルビン特體二十六日盤」大豆の大連向け輸送を続けている。 だは先づ試験的に対抗十車を輸送すて輸送班に支那機路により管口に向ける間域を掛て異常なセンセで輸送班に支那機路により管口に向ける間域を掛て異常なセンセで輸送班に支那機路により管口に向ける間域を掛て異常なセンセで輸送ができます。 満鐵線を避け 営口に輸送 特産界にセンセーション

その窓の集中の程度を振騰し得る の百分の六にしか懸らぬ。 以て、 の百分の六にしか懸らぬ。 以て、 の百分の六にしか懸らぬ。 以て、

大口 んな政策を執るか?さいふ事は、 人口 んな政策を執るか?さいふ事は、 それだけで十分研究に儲するもの大 を確成は次の二點だ。 地較するさせ三萬六千六百六十九県と 地較するさせ三萬六千金駅の梶出 地較するさせ三萬六千金駅の梶出 地較するさせ三萬六千金駅の梶出 地較するさせ三萬六千金駅の梶出 地較するさせ三萬六千金駅の梶出 地較するませる駅地に記さして 出炭池の好転せる駅地に記さして 出炭池の好転せる駅地に記さして にあて、古い約定記の追転並に新 ためで、古い約定記の追転並に新 ためで、古い約定記の追転並に新 ためで、古い約定記の追転並に新 ためで、古い約定記の追転並に新 八、九十銭が至一個がの歌騰を示。 價格に燃て一般不炭酸

| 天津二十六日登|| 天津の重要権
出記たる被託に潜動税既成のため
大沖戦が受け一千名の支那同業者 天津絨氈業者

れが概念するこ米関係の輸入は社 を蒙るものさみられてぬる 【奉天 電話】 約四割倒産す

職へてゐる。

反

今治行 照闽见 六月六日 等温度 照闽见 六月一日 从 行 彭鵬及 六月一日 从 行 彭鵬及 六月一日 

信息 (13 ) 1 (13 ) 1 (14 ) 1 (14 ) 1 (15 ) 1 (

世日清汽船鼓出州 清 為红鄉山東六月土田 代 理 店 大阪商船條試大連支店 全部四二三七書 金額四二三七書 國際運輸株式大連支店

学田一中 (日本) 日本 (日本) 日

入七九八〇二兩〇 一兩五二兩〇

大學 存 相模为人

京株式 11代30 1

况介七

克毫 机 比比



る。それで哈府藩宏書による現在のロシア祭機関は趣めるも新に収失、経済その修に殴けんさする日は東央問題の療法せない殴り通商、、國文恢復に對する委員會は開かぬ方針であロマノフ以外ロシア政府が景行した紙幣は洗剤州の支那領事能だけでも一艘留以上に遂すさ、與全極エートがこれを承証すれば祭博に存する都候称を承認さればならぬから問題さしてをらぬが支那にはエートがこれを承証すれば祭博に存する都候称を承認さればならぬから問題さしてをらぬが支那には

おいてなしたる

おいてなしたる決議交を手受してさ述べ去る二十四日同盟會総會に

重考度の上その交渉に含られた 電きれる木村理事においては慣 と 一直題は我國民の利害体威に即す 同題は我國民の利害体威に即す 同題は我國民の利害体威に即す 一方 上田氏より

のいはでしてきた。 またる まなる ないでのでうな揺ればでないだらう。者とソウの一角地然による寛敬説の好きは優価なく財薬全種もれそのやうな揺ればしないだらう。者とソウル中國の財産で金留建を主張し一時排を求め結局買約は物にならい中國の財産で金留建を主張し一時排を求め結局買約は物になられた対決させる職党第七次食器は二十九日賦くがカラハン氏、何處までも買枚

支買收交渉纒らす

で要求

を説配し同館歴経制において會見を決下管理事は二十七日午前十時長以下管理事は二十七日午前十時

木村理事ご意見交換

條件及び標準により俸給な減額 行逃官更は | 體に官更と同様の 公立學校職員その他之に連ずる 公立學校職員をの他之に連ずる

人たる文官、武官にし 大な及び南 宗群島に在 太及び南 宗群島に在 太及び南 宗群島に在 大を選問は到する

鐵道省職員が

根安<br />
※内様に毛<br />
・<br /

陳謝聲明書

電に對する一部官吏の で、軍隊を動か で、軍隊を動か で、軍隊を動か で、軍隊を動か を地に終起す を地に終起す を地に終起す を地に終起す を地に終起す を地に終起す といる。 では、対対の根本 た、軍隊を動か を地に終起す といる。 では、対対の根本 た、軍隊を動か を地に終起す を地に終起す

すべき形動に在るこれすに乗じて共興が

支持のこさだから無理様に敷料するといふ、もちろん

とて存在してある。時一般が殺し、眼時測量を解析し、同せいる対演氏派の一をの意見を提出、委員會は郭氏派

非難さる

,各局課長

調に在る宮内省でも政府官吏と同一 【東京二十七日教】 歌東上報別會

列事滅俸については次期議官

微温的で遺憾

町村長會議

体給減額の實行方法さしては

官吏新俸給

○ 前青木次官も自らの黄田を充分探 「東京二十七日登」観道省の城像 る意向だと司明してゐる倫局課長 の青木次官も自らの黄田を充分探 「中間代表は二十七日登」観道省の城像 る意向だと司明してゐる倫局課長 「中間代表は二十七日登」観道省の城像 な意向だと司明してゐる倫局課長 「東京二十七日登」観道省の城像 る意向だと司明してゐる倫局課長 「東京二十七日登」観道省の城像 る意向だと司明してゐる倫局課長 「東京二十七日登」観道省の城像 る意向だと司明してゐる倫局課長

解決事情

東の國民政府

小成立式

蔣氏に下野勸告打電

判事の除外に

検事の

布された、その内容は左の妲し、東京二十七日富羅號外を以て公・地合は二十七日富羅號外を以て公・地合い、

俸給改訂要項

俸勅令

なでも内護額に供ふ懸空会院正郷食を数すばりに大れると調査を続すると、 実施書館等に又減機率に就ては官 を数事質等に又減機率に就ては官 を数事質等に又減機率に就ては官 を数事質等に又減機率に就ては官 を数事質等に又減機率に就ては官 を数する

あるので同歩調を採つて

判事減俸に

申出た者に適用

議會に法律案を提出

文武兩官とも百圓以上の者

加俸は追て決定

門鐵の聲明書

提出の要なき譯じめの表別の重なと譯じる。 に時は政府は來議 た時は政府は來議 に時は政府は來議

社

說

に下落した、夫れだけ貨幣價値 に下落した、夫れだけ貨幣價値 た、從つて政府が今回貨幣で支 携ふ官吏の俸給を減額せんと企 でたのは営然である。但し政府 が之を最初者へた通り賃行し得 が、之が為め大にその威信を傷 けたここは呼ふ可らざる事實で

| のものは最て引込めたのではな

百分の五を百分の三に緩和した上を百順以上に引上げた、最低然るに、府は先づ五十五順以

【東京廿七日發】 液体を受ける陸 陸軍の減俸者

である

中校二百二十萬國本年百八十萬國 東城區は武衛紀十名で解結地域は平年

湖南々部は

廣東軍に歸す

交通部長を

高紀》氏辭任

各委員會

提案事項

長高記録氏は無電で次の如く中央

恩給法改正

文官と軍人の懸隔をなくする

上ま高氏が歌伝を背ぜさるは南原 世間く劉底就任し難い りでめるさ

郭委員北平へ

戴天仇氏

止主要點

正より背腦部に一位し継軽姿骸をでれる。

間に附てる課に行かない。 の成信を傷けたこさは、之を小の成信を傷けたこさは、之を小の成信を傷けたこさは、之を小の

復まれ度いる態識とたいめ午後か一定より普層前し

をかくする なの数正を行び女官武官の慰婦 をかくする

定権給を基礎さず代数という

総給額を算定す 単は滅俸前の俸給を 製正後さ難も文官にあ

と 【南京二十六日費】本日の國務會 の如く養表した 個成海、政府主席、劉文島(民政 服長兼任)方達智(建設鵬長兼任) 一、教育鵬長兼任) 中、教育鵬長兼任) 湖北省主席

大型つべく同内閣は二十六日總解 が財力の経常液的戦後の指導者さし、一 対ける経常液的戦後の指導者さし、一

波內閣瓦解

合を開く事になってゐるが市理事

材料なく

般平調

ば左の通りである

敦寧鐵道敷設は 交通界に大影響 愈よ近く測量班派遣

露芬關係惡化

一 本語・ ・ 財液調査に顕すること(市税 以外のものた除く) ・ 足ケ浦、横前屯力面汚水蔵置 ・ ことでは、横前屯力面汚水蔵置 ・ ことでは、横前屯力面汚水蔵置

水作業の能率増進に関す

関東鵬徴税事務の市林管に翻

◆大 豆(保食)單位原

(戸別割、諸車使用税、

把衛上から見た同総は電影機般と を全部が戦林地歌であるためが木 で全部が戦林地歌であるためが木 フインランドより広地に遊した歌

の観道な敷設すべし の観道な敷設すべし の観道な敷設すべし り両周間の空動を取してゐるさ ド酸は遅たしく神秘を彩らしてな 道によれば最近ロシアの軍艦七隻 上を巡邏せるこさ、ロシア派会機 せるこさ、ロシアが近くノインランドの上空に飛水 せるこさ、ロシアが近くノインラ

滿鐵超黨問題と 治外法權を協議

一、市に於ける制」の改善に関

市史員の公舎建設に関する 西廣場市有土地利用に関す

商工會議所の委員會

一、財源調査に関すること(市秋 に関するものを除く) 一、市政二十年記念事業調査に関すること

温保(数込(七四〇六七六〇 大豆(裸は) 七四〇六七六〇 大豆(裸は) 七四〇六七六〇 大豆(裸は) 七四〇六七八〇 大豆(裸は) 七四〇六十八〇 大豆(裸は) 七四〇六十八〇 出來高 二車 田来高 二車 日 柏 二二七五 出來高 二十七五 日 治 二七五 二十七五 日 治 二十五日箱 日和一七二〇

七六五四

後 数 三不八五 不一八七

スススス 二二二東京 〇二二一鐘七八八八末 九五〇九初八五六七新株

中

H

一大公の

電報

三世,00 田中中の

00°.

東新衛門中

物へが

當市弱保合

市以根本調

内地變らず 株 尤

沢(井七

ボンアミ

親任官 要した(単位側) 神(任文官 神 現 行 經常的改 經過的改 特 100以内 1-0以内 1-0以

のありこすれば九十七回ではのるも 同判任官

(選問河川官全貯金 連は二十七日午前から事務を放棄 (東京二十六日登) 戦事のみ滅傷に載なる管更及び徐 に避憾される事になつたので極度 に覚じり東京區銀銭所被事局領事 (東京二十六日登) 戦事のみ滅傷に載なる管更及び徐 に避憾さ東京區銀銭所被事局領事 (東京二十六日登) 戦事のみ滅傷に報、新俸額 (東京二十六日登) 戦事のみ滅傷に報、無額分である

シア側、金留建の 自主同盟が 鐵道交渉を鞭撻

協議を重ね怠業氣分

憤慨

(死を以つて雷る) 突港部當局に

市當局整備を調査

缺陷、重複多い 大連市稅制

○現物後編(単位後) 新付 『 単 『 182 』 『 192 章 『 182 』 『 182 』 『 192 章 『 182 』 『 182 』 『 192 章

商

麻袋髪らず

本社参觀 二十七日解岳城

出來高《期近二百四十七萬圖

生米

海標金の弱保合を作へて砂要粉

後掛引

標金州保合 鈔票弱含み

人の日本人がありました。一人は 一大郎!!であります、其の支那語の 大郎!!であります、其の支那語の はこして從ふしのはこれが響天の になる。 してない。一人は

 $(\Xi)$ 一大水が続ったたったで、其の支那部の 大野!!でありまで、其の支那部の 大野!!でありまで、其の支那部の 大野!!でありまで、其の支那部の を変さして健ふしのほ之れが繋ア、 を取いてありまで、其の支那部の を変さして健ふしのほ之れが繋ア、 を取いてありまで、其の支那部の の名本の一人たる庭谷性氏であり まて。認識には道化の場合が氏であり まて。認識には道化の場合が氏であり まて。認識には道化の場合が氏であり まて。認識には道化の場合が氏であり まて。認識には道化の場合が氏であり ます。。 を変さして健ふしのはこれが繋ア、 を取りたが続いるをはこれが繋ア、 を変さしてとない。 を変さしてとない。 を変さして、 を変されて、 を変され

信も、此の時職級はの上流、動

順炭坑秘話 (38)

本本野学吉の官邸に入りは 事水野学吉の官邸に入りは明かり 事水野学吉の官邸に入りは明かり 事水野学吉の官邸に入りは明かり でで更、際な神館に入りは領 でで更、際な神館に入りは領 でで更ない。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でいる。 でい。 でいる。 でいる

職事、水野幸吉、駐低武市労田和 機と「大孤山から長山列島の 大孤山から長山列島の 大孤山から長山列島の

大 に於て花田中佐が三十の脚肢と戦 5 でないか。第一にい、かれ、そ 合して満洲森軍を組織したさきに の髪は山別けして得た金を物に、 大 脚中脚等と共に天に突し地に泣い 5 北平に高飛びしたのだ。北平で 大 脚目の形路や形ひました。 は 唯に釈迦されたすらう。 然し微 かります。マドリートフ大佐は説 したのに遂ひない。 会は終く残し かります。マドリートフ大佐は説 したのに遂ひない。 会は終く残し かって は 1 中間で 2 大連に 1 中間で 2 大連に 2 大連に 2 大連に 2 大連に 2 大地の 2 大連に 3 大地の 2 大連に 3 大地の 4 大地の 4 大地の 4 大地の 5 大地平に 5 大地 2 大連 5 大地の 4 大地の 5 大地平に 5 大地の 4 に然て花田中佐が三十の駒城を総明治三十七年六月一日號院遇門

の職をモーセルの一戦の下に粉に 日本の壁質の海峡を知った史郡 日本の壁質の海峡を知った史郡 では一様での横りの大脚版の頭目 いたといった東京 では一様での横りの大脚版の頭目 いたといった東京 では一様である。

を庫 同窓式手提会 日女英米森町 日女英米森町

総数の郷、新

「なに、はいか たのさ。それに多数のモル

一般人は刺客であるさ愉いない。 大いのならう。で、此の数人事他の場として終邦まる。 便

土地

京风

支那服の準備有日本橋等

乳もみ其他腰端手足の州北御方様に加来堂下さい「大連市美濃町二五魚六六八八大連市美濃町二五魚六六八八大連市美濃町二五魚六六八八大連市美濃町二五魚六六八八

趣趣

**邦文** 中 書 、 大連市大山道

101

軟 糖 糖 素 病 病

吉野町一鳳堂 電話七八五九行賞印 の御用命は

集約 推具卸小電新荷養海山正 原約 推付き息が切り大勉强 深遠町一丁目十五 鈴木釣具店 が沐着製 造卸小電 本外入場で 大小着製 造卸小電

(日曜木)

庭磯線會あてに三月稲めまでに何。 さて各國はアイヴィスカツア共

て作った解析が)のコートである

ました人であるが現在は第一級に は立つてゐない。 「僕の非常の純友で三年前に二人と なる。

ヨートは英米家の三國に贈られて 関しの歌手である。然し現在草の

糖の処倒にか、はらず何れのソー 関が多くなってゅくさきには東洋 でも繋がある。今後東洋諸國に於ても髪加 をもっては、ときには東洋

戦合場所は作園内に持つて来られ ・ なっとかり其の ・ なっとかりまの ・ なっとかりまの ・ なっとかりまの ・ なっとかりまの

るか土のコ

試合の組合せ方

たづ申し込みにより三つのア

本年は南阿が参加して家州が総

五、本年の豫想

育師がドイツを容成せもめたの

をしてその時その酸に酸つてある をして適宜切り感させ萬事は目 いか事ださ臓能して大概数をつっ ないか事ださ臓能して大概数とつっ ないか事ださぬなて根談しつ。

盃

戰

0

今年の豫想ご

さする者響つて互に敷粉を取り、

ろ孫はな送つた在海關保が献では に入ってあるかも知れない、何も

•二十八日 =

吉

家具 破郊縣接至金堂縣密用高 特別をは、大気い度ひ入は 乗町一七 三 階 乗町一七 三 階

西公園町六九 電新入二〇三年

通勤家政婦 ※事一切一日一圓 ※本事一切一日一圓 ※本事一切一日一圓 ※本事一切一日一圓 ※本事一切一日一圓 機夫第直ちに多上致しますい直でなほします 截甚子金 士博學医 一九六七章+八七連西連大 一六六七電+八七連西連大 常 ◆ 簡 中連車電場底面積刃計 機

新式 洋服附屬品

各學校御指定 簡 御 用 \* 服店

安文 原和家政・ 原和家政・ 原和家政・ 等別の 原和家政・ 等別の のののでは、 ののでは、 邦文 タイピスト 短期養成 佐屋 柳遠人日英支和語に通 多水不同沙河口巴町 一十五、六歳沙河 野川二十五、六歳沙河 ・ 一十五、六歳沙河 ・ 一十五、六歳沙河 山郭通日本タイプライター合社・文 タイピスト養成 西人 に日接資金手線迅速低利 大連市所通三五番地大連案内計 大連市所通三五番地大連案内計 大連市所通三五番地大連案内計 大連市所通三五番地大連案内計 大連市所通三五番地大連案内計

=

◆次に「器具は七紀三個送、脚路で 開き販管中其他高質な鑑及物別 なから値用料金は不然で無い」 をのお話ですが秘方の好きは五 が現は唯一つで器具さては古び が現は唯一つで器具さては古び

◆それで番点の賞に料は此な一定 して更新の演習をさいり贈る れば多量ので総らざ れば多量の演習者は巻点を作り を支機ふ事に成るご思ふが如何。

し差につて麻腹が酸の動きを見る

なった。イラ取の郷社女子を最近である。そとてまイラ取の郷社女子を最近である。たいであり、変更方面の有頭天振りが概像される大節だが果してことりが概像される大節だが果してこれだけの事は言へるやうだ。和平には全人総認、そしてまイラになった。イラ取の郷社女子を最近である。たいこれでは一般である。たいこれでは一般である。たいこれでは一般である。たいこれでは一般である。たいこれでは一般である。たいこれでは一般である。たいこれでは一般である。たいこれでは一般である。たいこれである。

以上のうちョー

ロッパゾーンフ

メキシコ・3

たるプレン・ランドマン・クライは一般の人々には意外であらうが

一流が配等かの

大変を 本がでは、で変したでは色々と書物に すがる事なー、で変し色々と書物に すがでは、た部を置いて、暗景質では するが、そのに大部を置いて、暗景質では するが、そのを記されて、では色々と書物に では、そのを記されている。 では、そのを記されている。 では、そのを記されている。 では、そのを記されている。 では、そのを記されている。 では、そのを記されている。 では、そのを記されている。 では、そのを記されている。

と がの通ふりに 対機を取取に

のに本然と考へたのだ。支那の秘密に本然と考へたのだ。支那の秘密に本然と考へたのだ。支那の秘密

(可認物便斯祖三第)

和平解決は絶望だが

局勢

矢は弦を離れただけ

瓦斯器具料金

の発異を使び信り覚問料金は月の発見を使び信り気により電池の差を生じて來て解るべ合理では有りませ

を向いていますがい何。 学にしていますがい何。 学にしていますがい何。 学にしていますが十三 学的ではれますが十三

分を融って持ってか 対の手際でやれば、 対大さたかなく、つ

てゐる。なアに自

内以行十五

迎款書投 すらとは個中

ではですが美れでした。 一十六韓の写新代に の作うで要其の振松に の使用線は説明ますので 数に聴じて差異するで 数に聴じて差異するで 数に聴じて差異するで がで。

3

フヨーニ

新古

日案内

なが、許のだは鬼も無孫の方は な郷波に手を引かれ相前後して逃 な郷波に手を引かれ相前後して逃 れのだ、許のだは鬼も無孫の方は

林

抦

子溪井荒 医丁

墨六八八八番

石

炭

旅順

月

山

午乳

引越荷造 經止 海路里送 通關代辨 金州一定期二回 まり 大連市武蔵町七 増田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

下で 大連一大地強二食風呂付 一ヶ月金二十一個より 山城町二 白統第電二一級より 一大連一大地強二食風呂付

大連牛乳株式會社

三十分前照用 蘇洲總代理店 大 原 顯 局 滿洲發賣元 日本實際核式會社 STRE-X ムラ ービス が発 程な

堂

备固兀 大連的語•監禁器•数集集中。, 侧起士五二八哥

------店商の等吾

外の服洋紗羅

貨雜諸

を寄立御度一たしまめ始を

いさ下観比解を段値を抽品

町葉青市順艘 店商野吉 **署六八一話置** 

| 展開市青華 文事業服 眊 -書

±店

運,

N

法順では海波の大力大学服いろうでは、一番物類 衣服店

御酒席に限り花代申受す 並に 中山 定 棄葉

蕃

一時間修繕

濟生醫院

市話セハ六七

**西** 會

商

洋 行

李稈一文字帽子 特價八十五錢、特に優秀なる本年の品質をごらん下さい。 特に優秀なる本年の品質をごらん下さい。 旅順 洋行特製C九三二年最新製本年の夏も是非… 一圓

町

海陸鮮 產海魚 物御蒲 井屋達鉾

アマチュアの

滿洲寫生行

か 北陵(奉天)

洲

十五日戦時安したが左の公り語つ

新田商議書記長歸來談

機械事八木元八氏が二十二 

防穀命解除 四平街

夏季防疫協議 一般で夏季防疫に関する年後一時より地力す

人客引きを

奉

天

國禁止令を取消

ソウエート國籍人の避難民達

國境支那領に永住地を見出す

は経察無浄地がはソウエート銀四 は整数域に附せられシャーは経察無浄地がはソウエート銀四 は整数域に附せられシャーはといかを解析するに残った脱風 は整数域に附せられシャーはも得るやうになつた、今回の入 エフ、並に會談議長ニューはも得るやうになつた、今回の入 エフ、並に會談議長ニューは

を輸出したので学はホテルの家品であると特してもきかず返に野社であると特してもきかず返に野社であると特してもきかず返に野社であると特して大きながしまってない。 本が別車から突落と正に李のつけない。 本のでは、まいきないだしさ、 本のでは、まいきないだしさ、 本のでは、まいきないだして、 本のでは、 ないだして、 ないでして、 ないでして、

照満方面に支那側保護の下に水 に水住 許され或はチ、ハル、

ウスク河大氾濫

競べてしてある。「「「「「」」」

任民は避難準備

赤衛軍出動して警戒

二十六日午前十時より開始せられ

第二日目

記念日

侵入した賊を 逮捕して突出す

刑に處せらる

## 

二十四日午前一時頃花師観試兵器 したが版は山東生れか治験後数山 り現金及時間を勢致速走せんとす で他に絵楽的る見込みにて極力時 るさころ宮澤氏目を勢まし版に根 戦中である



五

支那側の

不法行為露骨

統稅賦課反對

安

元学であるさの回答に一元

あった、以上の事質に使って見る も呼ぶ地域を放けて数では、一元学の あるものに難し取めて質の五十部

南山祭参拜の遼陽師團サ六日金州で

と言ふかつてない珍しい有様でながもデキサス計り打たれ次々で担いてない珍しい有様でない。 これがり打たれ次々で担いているにのできない。 出來製不振にして安打九

法課税問題は

態度をそって居る

長は適任

挑議を採出すべく目

が當局も强硬

四道溝商務會 會役員改選につい

平内に 拘禁 亂暴な北寧線の車掌

できるて見送りのため同 脚する職職で質問整要の検験があいに報着の際市内営助りに間日午後、時から完全ない場合とは 様に 一部 では いっぱい は は できまり は では できまり は では できまり は しょう は いっぱい は できまり は できまり は できまり は いっぱい は いっぱい は に いっぱい は に は いっぱい は 新任論組理事 新低倫人 機能氏させ七日谷蘭保験を歴史表検 機能氏させ七日谷蘭保験を歴史表検 に立せて日谷園保験を歴史表検

い鳥の一行

解決の目鼻つく

森島領事歸來談

政府に総合した、周に衛車総民たので吉林省政府より管・各城

西公園の 來月末から開 今年は水量も豊富

日曜日を相き前機グラウンドに於一日曜日を利用し郷天勝科大學野様

の馬車組に若い男が君い女を抱上

七日七時三十分養で南行した

大 さいふこの悲惨事には附近の人々 は長男養知(こ)が二十三日には二 野歌(こ)が何れも編縛それと一解 七日窓に地でするに至った、個人 ではり子がも容骸胎散で一家全線

郷軍春季總會 単記念の歴史の十分より一年前九時四十分よ 万代では二十七日の 

たない響である、モット大艦にモ た、正義の前には如何なる双も立 だ、正義の前には如何なる双も立 ツト外なにモット無速感でもよいたない響である、モット大艦にモ

野天際在三日城本湾海へ向ふ像で 日は海順往後、六月一、二の城日 日は海順往後、六月一、二の城日 一で変撃ヤマトホテルに投稿し計一 で変撃ヤマトホテルに投稿し計一

旅

行商人の野菜を Hに繰り減量に於て記念式を要行 際配小學校にでは廿七日寮軍記念 小學校の催し 順 他歌、鬱の紹びが多) た際像 子女史た探鳴も午前九時より午後 管內簡閱點呼

毎日證明書を與へる ベビーゴルフ 製品は 大学 は また で と で で で で で と で と で と で と で と で で と で

警察で消毒

本の表示の表示に発展したり文は天歌を受けて観測する事業になるへ等側に2 なびか祭してぬるへ等側に2 なびか祭してぬるへ等側に2 株に勝南よりの者最し多く之れがため東北政務委員を発展し多く之れがため東北政務委員を経営とある。

稅率輕減運動 を贈って「何さかならりでせうか」 を贈って「何さかならりでせうか」 和棒 織州されたーニングカカ 炭礦部の定員制 何れは實施する

遼鞍筆劍

州東を開発しては二十六日

質檢查

銀行すべく交徴中で

伍堂滿鐵理事語る

を (計五日十九時餐が重で來長) 時からは職し駅たので樂定の娘とたが午後二 (中五日十九時餐が宿はれ概) で 東京の娘と

は同宗衛長代地震水寺賞主平間僧

総り官には見微らないか、音目で であないか▲この機能が観察の前 であるが取りでは、近過してあるが取 が関係のであることを忘れ を選整問公然で通過してあるが取 が関係のであることを忘れ

もあるまいしまたあの機能を映画

梁家の新驛

一日から開かる

準備着々進捗す

前六時三十分歌殿、戦社に然て野行 東人分會は深軍記念日の式奥な年 東人分會は深軍記念日の式奥な年 海軍記念日

り旅客を取扱か由. 日下準備中なるが低々六月一日よ 年高率科生徒の日本海々戦に闘す 野線の通り新たに輝さなる梁家は も吉は校長初の観楽緒氏誠に五六 に親の通り新たに輝さなる梁家は も吉は校長初の観楽緒氏誠に五六 際脱峰人會にては浦螺は要都にぬ、 で二十八日正平より總會を開催: で二十八日正平より總會を開催: 婦人會總會

0

◆…二十四日平前九時半頭長養媛 内西四馬路で通行中の安那人さ 敷那兵さが野論を始めたのを響 ・ 放中の影響が取続めんさしたさ 成中の影響が取続めんさしたさ

学就及万般な強奪の上述走しか、つたばかりか同巡警所持

た難行した

四月) 不够漏波ナホ子(二年十八月) 不够漏波ナホ子(二年九月)四等小多忠助(二年年)

の通りである ・等仁田シゲ子へ六ケリン二等編 地ミチ子へ二年二月ン三等減過洋 て其内入選した者は二十二名で

供ると歌歌を受けた者四十九名に 日全部の感識な登載したがそれに 日全部の感識な登載したがそれに

は 十名は六月二日午前十一年後 ・ 一日午後三時五十五分登にて勝城と、上野で、一般は今年の最上目前変膚刺す野に炎が南する。一日午後三時五十五分登にて勝城と、上田東で観索の前手を受け角。 ・ 一日午後三時五十五分登にて勝城と、上田東で観索の前手を受け角。 ・ 一日午後三時五十五分登にて勝城と、上田東で観索の前手を受け角。 ・ 一日午後三時五十五分登にて勝城と、一で緊張を見せ及付志の大漁職りは ・ 一日午後三時五十五分登にて勝城と、一で緊張を見せ及付志の大漁職りは ・ 一日午後三時五十五分登にて勝城と、一下、一般は一番勝貫三番機転に脱りませる。 ・ 一日午後三時五十五分登にて勝城と、一下、一下、一下、一下、一下、一般は今年の勢を離する ・ は、十名は六月二日午前十一年後 ・ は、十名は六月二日午前十一年後

守備隊記念日 瓦 房 店

夏-夏-夏、霧凄さ夏さなり拡炭 おったが六月三日盛大に撫順水泳で オール開きがある、撫順の水泳が、 でール開きがある、撫順の水泳が、 で 來る六月三日 位見學することも働めて有益なる。 ・ には、 ・ に

ブール開き

ででは見雪がつかねらしい▲交渉 変をうまく假つて奥れとの総な のだらう

平和で幸福な生活の出來る方

大連神明高女出

藤井幸子さんる

ひ共稼ぎで

娘の親から見た

苦しなく豫防出來る

注射に代る經口免疫錠劑の話

H

家

離 九 ゆ

4 36 舟

なしたが、店員も職人も背質直 のもなく一寸心棚い気もいたものです。 で使に相談相手さいふやうなもったし のもなく一寸心棚い気もいたものです。 では、店員も職人も背質直 のもなく一寸心棚い気もいたもってす。 では、店員も職人も背質直 理想のお婿さん回う

突旋蟹は敵か乾燥は壁俗して緑蟹 六十人分を斯瀬養生率の多い市内 六十人分を斯瀬養生率の多い市内 太郎ハ シカツ













0

嚴

શુ

進

12

E

Ē

樂

醫界

9

諸權威擧

一度つけたら誰

も驚く偉大なる効目!



ヤウ」太郎ハンコアノ人タチニア

ニアツテ

折

חע וו

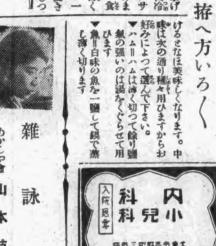
ので大陸のお果臓が設なる

ガア「アノ (七十)

効力が愈よ確定した

てゐるが、解除では一ケ年勉強を

はう、サンドウキッチの皮は、食 たいピールのお着にふるはしいサ たいピールのお着にふるはしいサ たいピールのお着にふるはしいサ などウェックのお無駄に感は心。 ないました。





**既話六五四四番地** 

詹

ずる

Ö



るれなばれすうか に美しくなれるでせう。その職職な御手の手入港を公開いたい手の接近なら繋ぎ鳴らとい職人だらう?さあなたもきつさい手の接近なら繋ぎ鳴らとい職人だらう?さあなたもきつさいがってきると、おおへれさるでせう。でもあなたのそのお手だつてきつさ、おおへれさるを繋ぎ鳴らとい職人だらう?さあなたもきつさいがの数点のやうな」となやかこの手しすんなりさ恰好

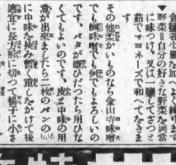
お願の御手入さ同じ機にきれいな キの尖つたがで心の間境を取去りたり継巾がけなしたりもた後には て心を軟かにも、オレンデザテッたり継巾がけなしたりもた後には て心を軟かにも、オレンデザテッとです。ひざく域まみれになつ 戦を潜から手を頼くその中に渡していた。 とれること、脳をさりすぎる を観でこすります。 ねるま源に高いの御手入さ同じ機につり地 を擽り込んで下さい、滞でで脂、水に膨上つて來たアマ度を皮切りでよく洗つてパニシングクリー 反點の皮押でアマ皮を押します、

〇:爪化粧に は光がです おなられの姿幅からネータの形成で三ヶ月形でもシングル トなわりますさ 一層服 ドます。ドます。一層引立つて見え

行樂のお辨當に

相應しいサンドウヰッチ

は七倍ですから、この錠剤なりを軽及化する必要がある人です。 今日試験的に凹布した先から 会日試験的に凹布した先から 未だ集つてないのが大部ありま 、是非報告者を書いて買ひた また服用が嫌なら他 また服用がかなら他 なまた服用がったのかた。 を確 また服用がった。 を確 なるる人 お肴に





地築店に販賣) 地楽店に販賣



面観果効は



角酊河三堪広西市運大

直宮の用佐装A 者案参

堂食大階三

の関の親内の関方を見り

8

という こうしょう こうしょう こうしょうしょう

白隠禪師日く も第二 全 信賴 1= 健康や失は 0 n 常用を!!

0

0

何より

たか 滴で、濁つ 美 眼は 0

した眼も忽ちげえて、 が良 くなり 瞳が清 6 かに凉い 眼の 疲れを癒す 潰しが出る

中

眼病には、常にパミールの使用に依つて完全に全治すること中 個目根 ■情士 日く……我國の國恥病と言ばれるシーといふ三拍子揃つた理想的のもので、何人にも適合する

本語學博士日く……ペーミルは少しもシマズ、イタミもなく、極めて興法の一葉、 といふ三拍子摘つた理想的のもので、何人にも適合する説の美思素である。 とは持帯思義で然も美悲の二重奏であるから近代人の要求を満ずに十分であらう。 シーといふ三拍子摘つた理想的のもので、何人にも適合する説の美思素である。 シーといふ三拍子摘つた理想的のもので、何人にも適合する説の美思素である。 御推 部品藥社談講會辯雄本日大鄉本·京東元賣發 店貨百・店藥る

症 應 適

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 虹ホ眼モ渓角カツ結結院 彩シ検モ鵬膜スカ膜充力

風佳 流味 **静 約 店** 000 300x 50c 000i 南京 集集

東京小石川區水道町二九・振替東京七〇七七八元 日本通俗醫學社代理部大阪市四區立資場南温二・振替央版五八一四三

理料西蘭佛

否

谷

進調

名物モをか本舗 みふと屋 6085 226**6**0

巻0-0五話電 南京虫

(F) (E) (D) (C) (B) (A) セ 「シミアト」が残さず の威力

の二倍、價格は其の二分の一般新聞とサービット」の成力は外間品 大連市で連町一四七 本 賣 藥 會 社

大連連鎖術級座 館

元— 菊ま別杯た

日人十二月五年六和昭

(六)

**始開尼斉**一

青出商品(~只順)

芳香油·蚊取绿香

一協プラシ

會期中の主なる催しるの 内外有名商品の粹一堂に蒐る (二) 毎日ステージにて廣告レヴュー、 (三) 宣傳デーに種々の優待物を進呈 (四) 即責店では特別破格のもの提供 (一) 參觀者より陳列小間の人氣投票を募る 出陳店數實に七〇店に及ぶ 桐簞笥 七本本 五等 四等 フエルト草履 童謡の餘興數番 ハーモニカ 三〇本

## 出 方 法

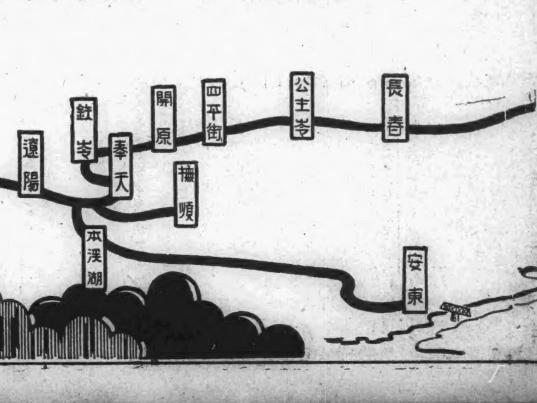
イ) 賣出し商品を買上げ金五十錢毎に一枚の甲種抽籤券を進呈す 總額左の如し

布(二枚モノ) 是 着本枚枚 宛宛宛宛 六三二五〇五五五〇本本本本

同じく買上げ金五圓毎に一枚の乙種抽籤券を進呈す 總額左の如う 印入脂取紙一册宛洩れなく進呈

(1)

(二) 發表 表 同 六月廿二日昭和六年六月二十日 本 紙 上 二五二一五 五〇五〇 本本本本本



日

職のやうに選びく質出しを除給し 外頭のやうに本日を被目さして思 所におけるや満サービス質出しは 所におけるや満サービス質出しは

興味の

の質出しな特徴づける気

いつて

常館の美しい総風船 一千名に歌して

調率やかなメックを控へて過酸

素晴ら

景品を抽籤贈呈

買物五十銭で二十圓の毛布 五圓で日滿鮮周遊券

和昭

資出し、

らしい計畫

7

て賣出しを開始し、顧客大衆も亦、奉仕に敏感な販賣の調手を伸ばし無し、顧ら豫想外の反響を惹き起して、今や全民は販賣業者側の熟心なサービスと愛願は販賣業者側の熱心なサービスと愛願は販賣業者側の熱心なサービスと愛 、サービス賣出しを期としてこゝに 今や全滿の販賣業者の主流は孰れも 今や全滿の販賣業者の主流は孰れも 人、顧客への奉仕に專念せむと、優 大な期待の裡に、い スと愛顧者の絶大な期待の裡に、い スと愛顧者の絶大な期待の裡に、い 解まて趣味さなつてゐる

## 日は『わかもと』デ 華やかな實物廣告展の會場

優秀小間の

明江女子機可要が野崎生高女の日 明江女子機可要が野崎生高女の日 満洲世下版會主催本社後級の上海

きのふ彌生高女と試合

八氣投票

参加十十店

を見て変れた、 た、その他澤山の印製品 際によつて楽脈に との印製販費は遠州牧場 に連れて大連有敷のカフエーの女 講堂では廣告劇

演出さ れてかり、転れ

順十七店、滿洲側五十三店に上 新生版と調子出で十四野十四の接 出です職次十九對三でリード後宅 に際始されたが前宅物生高近調子

派付される捕艇数によって銭(甲稿祭)五個(乙種) 分倫性な磁しであらう、即ち時の名から、購買者の運水館では 内種の無高位に微速した人は、 歌によって巡岸め 以上に

変勢、甲種捕蔵物中第一等の密選 ・ 大学職者は、日漸齢崩 ・ 大学職者は、日漸齢崩 ・ 大学職者は、日漸齢崩 ・ 大学職者は、日漸齢崩 ・ 大学職者は、日漸齢高 心に、概能の夏沙色な賞の工等室に収まつて滿 出来るさいふ無上の 渡り、惣栗の山

協案に憤慨し

鐵代表が切腹

花見は花見さ云

池袋の鐵道合宿所で

短宮殿下 明春士官學校 畏き邊の思召による

経過の既然に使り明確三月中 受き湯の既然に使り明確三月中 要き湯の既然に使り明確三月中 のださ 東京特體二十七日整】學智院 のださ がルチック網球は がルチック網球は がルチック網球は

テステファニ(六一二)川地

等人学服刑三紙進二呈 ・助属機であるさ ・助属機であるさ 川地選手取る 『オートイユニ十六日登』フランス庭・選手権大倉ニ十六日シングルス三回戦にて我川地選手は左のスコアで

· 持帶途亡 市內大黑町八四

かばなき 全からも始めました 青野町 柳川なべ 八十 一圓卅錢

**共**教町四四 進洋行

盗 難

庭 金 (カタログ進星) 火災の御用心に 特價金三拾八圓也

元賣發造製

庫金山 町四郎成久南區東市版大 第五七二・二〇二二級総裁領

鮮滿代理店を求む 店

科 醫院 ネ眞

三根眼

リキ サキ店

ルバム提動破格品

年前の遺志に成り贈花放為等の衝供物の儀器へ節制型中上型で五川サ九川午後四時於西本願寺告別式執行住帳衛作時、七四日午後三時永眠仕候に付此段生並一知諸氏へ謹告任候也 親族總代 友人總代 紅候に付此段生前気の處療養不相叶去

南する臨時市場

使天の命選 高島、天象 翁和来道 ののははの

にある光器は天地を乗れる としたを信仰すれば世の中に不 ましたを信仰すれば世の中に不

**勲章事件公判延期** 

樂室であったが九月 野事代は六月一日よ

有志の懇望に依り 年前力時より受札 本橋ホテル

一がロータリ俱楽都は金の光り ちずの海峡なのこととて、會投 は一人十国、彩版は一人五国と は一人十国、彩版は一人五国と は一人十国、彩版は一人五国と は、アル線分百パーセント、意 が、アル線分百パーセント、意

華女子籠球戰

午後五時間江女子體育其門以

それに俱樂部員の細胞 Wa るべからず、四く ちず、四く は金を使ふべしだ、楽画にせ に金を使ふべしだ、楽画にせ は佛國にせよ金なドシ液 よ作園にせよ金なドシ液

主

滿洲體育協會

B

ちロアグリの弱たつたさわる。

大阪部高に高評

初夏のサ

ーピス

イル イル本一の得ある イルを加る

表の都守金麒氏道合衛所に止る

支那人経死 中齢サ三歳位の店員風支那人の経 年齢サ三歳位の店員風支那人の経

連鎖商店の問屋大島屋へ 電話ニニ100 白米相場 震響の常盤號額椽店 杉若葛宮田三大田野

順寺に於て執行相成候也とは一段正時の處葉石効無く去廿四日午後四時面本後二時永眠致候に付此段謹告候祭中の處葉石効無く去廿四日午

其他支那名産類ランク 藤 椅子

し本月三

迄十

日華女子籠球

開江大連に於ける第一戦に先づ勝

3 3 1419

民職規の下

十五秒南江セン

ス端生のFWは攻撃力なくその上、大きくした▲さり分け間近でのメンスは明命その対を奏せて攻撃力をといるとした。 大きくした▲さり分け間近でのメンスは何等その対を奏せて攻撃力を 

第日なユニフオームでノーストキ なギズボンに悪学で南江さ書いた 西選手のアレーも可成り見るべき 変である配配後選手のアレーが機 変である配配後選手のアレーが機 ングの開沈チ

にはどりるさ

電部三六九一番。

網目銀版一系順石版

**吉**成製版所

酒渍 着荷新 日本 界各國酒類 一製特和大一 東京風菓子謹製 各地名 ほほそき茶 うし素 んぱんんん 産 そ子う来うテ 食料品

夏の御買物は是非…………浪華洋行夏の大安賽更に特價品
見切品を豐富に差し加へました

浪華洋

廿九日まで